

(ほーこえ)る

福祉人材情報紙



お祭りを開催しました!



キレイなお花を売ってます!
社会福祉法人 新潟みずほ福祉会：新潟市

あの人、この人
ほっと・インタビュー

- ◎特別養護老人ホーム縄文の杜関原
生活相談員 兼 介護職員 今井 純也さん
- ◎グループホーム福住
主任計画作成者 兼 介護職員 笠原 聡子さん
- ◎ケアホームあんじゅ
生活支援員 遠藤 清香さん
- ◎障害者支援施設 太陽の村
生活支援員 田名部 康介さん
- ◎特別養護老人ホームいなほ園
看護職員 笠原 幸子さん
- ◎上木戸保育園
保育士 渡邊 尚子さん

教えて!福祉の事

◎介護職員初任者研修・実務者研修

福祉情報

◎マンパワー講習会・人事労務管理相談セミナー
福祉・介護人材マッチング支援事業のご案内

2014 - 1

(ほーこえ)る

vol.49

はーくる

今こそ！
福祉職！

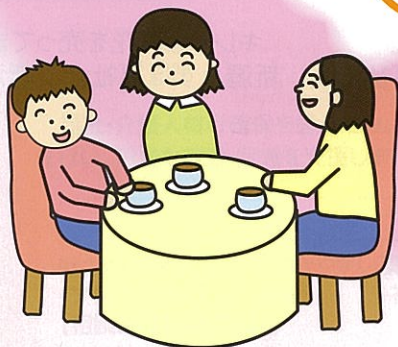
今こそ！福祉職！

みなさんは『福祉』と聞いたとき、どんなことを想像しますか…？
高齢者の介護や障がい者の支援、保育園、ボランティア など
いろいろなイメージがあるのではないのでしょうか？
『福祉』という言葉について考えると、

ふ = ふだんの



く = くらしの



し = しあわせ

と、とらえることもできるのではないのでしょうか？
自分を含めたみんなの幸せと、みんなが普段のように安心して
暮らせるように支援をすることが『福祉』の仕事の目標です。

この後のページでは、実際に福祉の現場で働く人たちの声をお届けします。



社会福祉法人 長岡三古老人福祉会
特別養護老人ホーム 縄文の杜関原

今井 純也 さん

生活相談員 兼 介護職員

福祉の大学卒業と同時に介護福祉士・社会福祉主事の資格を取得。
平成22年に入職し、現在4年目になる



福祉の仕事に就いた きっかけを教えてください。

私がこの職業を志望したのは高校1年生の頃です。高校内で進路希望調査があり、将来何になりたいか？進学はどうしようか？と考えました。当時、大卒の就職内定率がとても低いと言われていた時で、何か手に職をつけたいという思いがあり、何かの資格を取れたらと考えた時にこの介護という仕事が思い浮かびました。

もともと両親が共働きで忙しく、祖父母と多くの時間を過ごしました。保育園の送り迎えや小学校からの帰りに出迎えてくれるのはずっと祖父母でした。祖父母は大きな優しさで包んで育ててくれたため、私はおじいちゃんおばあちゃん子でした。高校生の時には祖父母も高齢となり、いつ介護が必要な状態になるかわかりませんでした。当時は「高齢者介護」というようなニュースが多く取り上げられており、高齢者の増加、介護者不足と言われ、そうなったとき今度は自分が力になれば、少しでも恩返しができたらという思いが強くなり、介護という仕事を目指しました。



仕事でのやりがいを教えてください。

ご利用者の笑顔や、ありがとうの言葉が私の仕事のやりがいであり、励みにもなっています。慌ただしく、疲れることもあります。そのご利用者の素敵な笑顔とありがとうの言葉が「今日も頑張るぞ」という気持ちにさせてくれます。



普段から心掛けていることを 教えてください。

ショートステイご利用期間中に少しでも明るい気持ちになり、「ここにきて楽しかった」という思いを持ってもらえるよう、いつでも明るく笑顔で対応するよう心掛けています。笑顔で対応すると暗い表情をされていた方がにこっと明るい表情になってくださることもあり、そういった表情を多く見ることができるよう日々心掛けて対応しています。

また、当施設では認知症の方も多く利用されています。「いつ帰れるの?」と心配になられる方もおられますが、そういつ

た不安な気持ちを受け止め、安心してくださるようご利用者のすぐそばでお話をお聞きするようにしています。「ご利用者は自分よりも何十年も長く生きておられる人生の先輩方」という気持ちで丁寧な対応をすることを心掛けています。



感動したことや感激したことを 教えてください。

車椅子を使用していたご利用者が、理学療法士や看護職員、介護職員といった様々なスタッフが協力して対応を考え、働きかけを行った結果、歩行器の使用や手引きにてご自分の足で歩けるようになったことです。チームで関わり、ご利用者の力が発揮されるようになった時、心から良かったと思います。



今後の目標について教えてください。

私たちの仕事はご利用者の生活を支えることです。一人ひとりのご利用者に合わせた生活の支援ができるように柔軟な思考を心掛け、自らの知識や技術を磨いていきたいと思っています。また昨年、環境整備委員会の委員長を任され、施設全体で取り組んだ花いっぱい運動を通じ、地域貢献の重要性を実感しています。夏祭りなどの施設行事では地域のボランティアの方が大勢来て、盛り上げてくださいます。私たち職員は、地域の中でご利用者に寄り添い、生活を支え、「この施設があるから安心だ」「この人がいるから安心だ」と思っただけのような職員になりたいです。





社会福祉法人 長岡三古老人福祉会
グループホーム福住

笠原 聡子 さん

主任計画作成担当者 兼 介護職員

平成9年に社会福祉法人 長岡三古老人福祉会に入職

介護職員、生活相談員、主任生活相談員を経て、平成21年にグループホーム福住の主任計画作成担当者兼介護職員になり、現在に至る

平成12年に介護福祉士、平成17年に介護支援専門員の資格を取得

平成19年に認知症介護実践者研修、認知症対応型サービス事業管理者研修、

平成21年に認知症介護実践リーダー研修、ユニットリーダー研修を修了



福祉の仕事に就いた きっかけを教えてください。

小さい頃から、お年寄りが近くにいることはごく自然なことで、祖母や地域のお年寄りとお過ごす時間は大好きでした。高校生の頃、祖母が寝たきりの曾祖母の介護をしていたのですが、それを一緒に手伝っていたのが原点ではないかと思います。

今考えればとても原始的な方法で介助していたのですが、その時はとても楽しく、自分が手伝うことで祖母の時間が作れることや、入浴や部屋の掃除をすると曾祖母にも心地良い時間を作ることができましたし、誰かのために何かができるということにやりがいを感じていたのだと思います。

福祉大学に進学し、高齢者施設での仕事を目標にしていたが、中でも認知症について学びたいと思い、実習先として紹介されたのが社会福祉法人長岡三古老人福祉会でした。職員もご利用者もいきいきとしていたのが印象的で、こんなところで働きたいと思ったのがきっかけでした。



仕事でのやりがいを教えてください。

施設をご利用者の「家」としてどうとらえていくかという問題があるのですが、施設で共同生活するということは、全てが在宅生活と同じような生活が実現できるわけではありませんので、ご利用者、職員ともに様々な葛藤が生まれてきます。その中でご本人の意向をくみ取り、具現化できた時にはやりがいを感じます。自分の思いをうまく伝えられない方もいられますが、その時の表情や今までの背景、ご家族からの情報等と合わせて、キーワードをもとにイメージを膨らませます。うまくご本人の思いが代弁でき、それが次につながった時はとてもほっとします。そしてそれが、ケアのパートナーであるスタッフ・ご家族と一緒に喜べることもその一つです。

また、ご利用者の語る言葉や話はとても素敵です。うまく伝えられない方もいられますが、その言葉は意味のあるものです。私たちでは想像もつかないような人生を歩んでこられたのですから、とても興味深く学びも多くあります。そこには介護する側・される側ではなく、人としての関係が生まれていると感じます。



普段から心掛けていることを 教えてください。

うまく思いを伝えられない方、しっかりと意見を伝えられる方、どんなご利用者に対してもまず話をお聴きし「確認」することを大切にしています。そして、「ご利用者にとってどうなのか」をその人の思いになって考え、それを客観的なところから見るように心掛けています。また、自己判断せずにアドバイスを求めたり、置き換えて考え確認するよう努めています。

ただ、状況は毎日変化していきます。これが正解というものはありません。だからこそ見直したり立て直したりすることも多いので、なぜ? どうして?と疑問を持ち、自己満足になっていないのか立ち止まって省みることの重要性も痛感します。



職員の育成について どのような工夫をされていますか。

当法人では、新人職員には1年を通じて定期的な研修が開催されます。そして指導担当職員をつけ、いつでも相談やアドバイスできる体制をとっています。定期的に面談の形で「振り返り」の場を持つことで、指導担当する職員にとっても教えることがケアを振り返る機会となり、成長が期待できると考えています。別の職種から就職する方も多い職場です。オリエンテーションをしっかり行い、今まで歩んできた法人の歴史や理念、認知症ケアの歴史等を必ず伝え、今までの社会経験を活かしながら取り組んでもらえるよう職員のサポートをしています。

その他、毎月全職員を対象とした施設内研修を行い、法人内の同種別事業所ごとに研修も開催します。資格取得へのサポートも充実しており、各種資格試験や研修への参加は積極的に支援しています。



これから福祉職を目指す方への メッセージをお願いします。

誰でもできるだけ人の世話になんたくない、と思います。しかし、心身の変化や加齢などによって、誰かの支援を受けなくてはならない時がきた時、自分という人間に謙虚に耳を傾け、受け止めてくれて、助けてもらった時はすごく嬉しいですよ。

福祉の仕事に就いて、これって普通感覚だろうか?とハッとしたことも多くあります。経験を積むうちに「普通」って何?と感じる事が多々ありました。これから福祉職を目指す方も今持っている感覚を忘れずに、常に頭の中ではな?マークを持って考える事を、大切にしていってほしいと思います。



社会福祉法人 新潟太陽福祉会
ケアホームあんじゅ

遠藤 清香 さん

生活支援員

福祉の大学卒業と同時に社会福祉士、介護福祉士の資格を取得。

平成25年4月に社会福祉法人 新潟太陽福祉会に入職し、現在に至る。



**福祉の仕事に就いた
きっかけを教えてください。**

大学3年の夏に障がい者施設へ実習に行く機会があり、そこで学ぶうちにコミュニケーションが上手く図れない方の支援について、どうしたらいいかわからなくなることがありました。しかし、職員の指導により、ご利用者の目線に立って考え支援を行うと、「これがしたかったのか…」等少しですがわかり、ご利用者も私に笑顔で応えてくださったことをとても嬉しく感じました。このことがきっかけとなり、障がいのある方にもっと寄り添っていける仕事をしていきたいと思い、現在に至りました。



仕事でのやりがいを教えてください。

ご利用者の笑顔を見るたびにやりがいを感じます。私の仕事はご利用者の日常生活を支援していく仕事です。日常生活でも楽しく過ごしていただけるよう、一人ひとりに寄り添っているつもりです。その日常の中で笑顔になっているご利用者を見ると寄り添えているのかなと感じ、とても嬉しくなります。

コミュニケーションが上手く図れない方がいますが、小さな訴えでも見逃さず、「どうしましたか」と声をかけて(ご利用者が)思っていることを察し、笑顔になっていただきたいのです。



**普段から心掛けていることを
教えてください。**

常にご利用者が過ごしやすい環境であるよう、ご利用者目線に立って一緒に生活することです。仕事を始めたばかりの頃は、私自身が、『あんじゅ』の中を忙しく動き回っていて、ご利用者もゆっくり休むことができなかったと思います。2カ月ほど経ち、少しずつ考えて行動できる余裕が持てるようになった頃、自分の動きを反省しました。私が忙しそうにしているとご利用者もそれに気付いて落ち着かないとわかって、忙しくても走らないようにしています。緊急の時は走ってしまいますが、それ以外ではゆっくりと過ごしやすい環境になるよう気をつけています。



**感動したことや感激したことを
教えてください。**

ご利用者同士で仲良く過ごされているところを見たときです。『あんじゅ』ではだいたい余暇時間を居室でテレビを見たりおもちゃで遊んだりと一人で過ごされていることが多いです。そんな時、あるご利用者があるご利用者の居室に行き、横になってテレビを見ていることがありました。この光景に驚き感動しました。リビングに畳があるのですが、そこでは二人のご利用者が手をぱちぱちと叩き合っていたり、おもちゃの貸し借りをしたり、一緒にこたつに入ってゆっくりしたり…。自分の部屋で一人で過ごすことは家ではあることですが、これからずっと共に暮らしていく仲間として、ご利用者同士ふれあって過ごす時間も大事だろうなと感じました。



今後の目標について教えてください。

今後も『あんじゅ』でご利用者が安心して快適に暮らせるような環境を作っていくことです。勤務して9カ月程経ちましたが、ご利用者の生活を振り返るとゆっくり休めていないんじゃないかと思う所がいくつかあります。ご利用者も入居してまだ1年と少し。家族と離れて過ごす生活に不安なところがたくさんあるのだと思います。すぐに信頼関係を築くことはできませんが、日々の生活の中で一人ひとりコミュニケーションを図り不安を取り除けるようにし、自宅のように安心して暮らせる家にしたいのです。

また、これから多くのご利用者とかかわっていくと思いますが、一人ひとりに合った支援について考え、信頼されるような支援員を目指したいのです。





社会福祉法人 新潟太陽福祉会
障害者支援施設 太陽の村

田名部 康介 さん

生活支援員

大学を卒業後、平成18年に社会福祉法人 新潟太陽福祉会太陽の村の生活支援員として入職し、現在に至る。

平成18年に社会福祉士、平成22年には精神保健福祉士、平成24年に介護福祉士の資格を取得。



**福祉の仕事に就いた
きっかけを教えてください。**

学生時代から障害福祉に興味があり、色々な作業所や施設にボランティアや実習に行ってきました。学生時代に太陽の村でも実習を行ったのですが、支援員のご利用者に対する考え方がしっかりしていて、また職員もご利用者と楽しそうに一日を過ごしていたのが、とても印象に残りました。この支援員と一緒に働いてみたいと思ったのが、きっかけです。



仕事でのやりがいを教えてください。

太陽の村は、ご利用者の約7割が自閉症です。生活を送る上でご利用者が困ってしまう事も出てきます。その困った事について、ご利用者の立場に立って考え、一緒に解決出来た時は嬉しく思いますし、企画した行事や外出を「楽しかった。」と喜んで頂けた時にやりがいを感じます。



**普段から心掛けていることを
教えてください。**

よい緊張感をもつと共にリラックスした状態で支援に望む事を常に心掛けています。

相反する事を言っていますが(笑)。

ご利用者が生活を送る上で、怪我や事故が無い様に状況の把握に努めています。潜んでいるリスクに気づき素早く対応をすることが重要だと思います。しかし、「事故がない様に!」と気を構えていたらご利用者が緊張してしまいます。生活を送る上でご利用者を緊張させてしまったら、日々の生活がつまらなくなってしまうと思います。なので、ご利用者と関わる時は、リラックスした状態で関わる事を意識しています。



**職員の育成について
どのような工夫をされていますか。**

後輩の職員とは、よく話をする様に心掛けています。そして後輩の仕事の様子を観察する事です。ご利用者を支援する上で悩む事や分からない事が出てくると思います。それらをそのままにしないで、私に相談出来る様な雰囲気作りや、私からも声をかけたりして、一緒に問題を解決出来る様に心掛けています。後輩職員が働きやすい環境を作ってあげる事が大事だと考えています。



**これから福祉職を目指す方への
メッセージをお願いします。**

福祉とは、人と人との関わりです。私自身、ご利用者との関わりの中で苦勞する事や悩む事もありますが、ご利用者と喜びを分かち合えた時の喜びは一人です。

実習、ボランティアを通じて、「やりがい」を感じる事が出来る方は、福祉の現場で頑張って頂きたいと思います。





社会福祉法人 上越老人福祉協会
特別養護老人ホーム いなほ園

笠原 幸子 さん

看護職員

看護専門学院卒業後、病院に13年勤務。

平成3年に特別養護老人ホームいなほ園で看護師として就職。平成8年に同法人の特別養護老人ホーム新光園に転勤し看護師長となる。平成20年にいなほ園に戻り、看護師長として勤務している。



**福祉の仕事に就いた
きっかけを教えてください。**

看護師を目指したきっかけは、祖母が病気で病院に入院したことで、大好きな祖母のために何かしてあげたいと思ったからです。しかしその祖母は私が看護師になる前に亡くなってしまいました。

看護師として病院に勤務していたのですが、特別養護老人ホームいなほ園が看護職員の募集をしていたので、高齢者のお世話ができると思い就職しました。



仕事でのやりがいを教えてください。

病院での看護の経験を踏まえて、病気に関して今後の予測をしながら、悪化を防いで、早く症状が改善するようにケアをしていくことが、看護師としてのやりがいになっています。



**普段から心掛けていることを
教えてください。**

介護職員は昼夜に亘って介護していますが、病院で夜勤をしていた時の不安を思う時、夜間帯は何事もなく勤務が出来るようにサポートしたいなあと考えています。それには、日勤帯でやっておける事はやっておいて、夜間に具合が悪くならないように事前に対処していこうと心掛けています。

また施設は病院と違って極力制限を少なくして、その人が安楽に楽しく生活できるようにお世話させて頂いているので、どうしたら制限をせず病気も悪化せず、その方の欲していることを提供できるかも医療職として考えています。



**病院と施設での違いや施設で
求められることを教えてください。**

病院は治療を目的に入院してきますが、施設は治療が目的で入所しているわけではないので、極力あればだめ、これはだめということなくその方の欲したいことをどうしたらかなえてあげることが出来るかを、医療職の立場で考えること、また医師にもご利用者の思いを伝えることが必要だと思います。



**これから福祉職を目指す方への
メッセージをお願いします。**

看護師の仕事には、病院で病気の方を看護する仕事と施設等で病気が治っても身体に障害が残ってしまった方の看護をする仕事があります。

施設の看護師は、高齢のご利用者の健康管理をしています。医師のいない時間が長い中での仕事は責任が重いのですが、病院とはまた違った看護が出来るのではないかと思います。特に高齢者が好きな人は看護師の中でも高齢者ケアの道へ進んでもらえるとうれしいです。





社会福祉法人 常明会
上木戸保育園

渡邊 尚子 さん

保育士

保育専門学院を卒業と同時に保育資格(現:保育士)を取得

昭和56年に上木戸保育園勤務

昭和61年に結婚・育児等のため退職

平成16年に上木戸保育園へ復帰し、現在に至る



**福祉の仕事に就いた
きっかけを教えてください。**

高校での進路選択の頃、教師・看護師・保育士の選択肢の中で、10歳年上の従姉妹から聞いた養護施設や乳児園での実習の話から保育士を目指そうと「新潟県保育専門学院」に進学しました。

2年間の学院の授業は、理論から実技、実践までとても興味深く、楽しいものでした。

就職担当の先生から「あの園は保育に対する考え方がしっかりしているから」と勧められ、上木戸保育園に就職。5年半程勤め、結婚で嫁ぎ先の商売を手伝わなければならず、退職しました。

自営業の中で、3人の娘を育て、仕事と育児と家事をこなしながら、子どもを気遣い仕事をする大変さと、保育の仕事の必要性を感じ、転機のタイミングも合って18年ぶりに再び、上木戸保育園で産休代替として復帰。10年目を迎えようとしています。



仕事でのやりがいを教えてください。

どんな仕事でも人のために役に立てる。人に喜んでもらうために今、自分のできる事をするのが仕事のやりがいだと思います。

子育ての現場では、月齢によって、大きな個人差もあり、発達スピードも違いますが、ひととしての成長・発達を見守り、援助して、保護者の方と共に喜び、楽しみ、悩みながらも、子どもたちの将来に希望をもてる事です。



**普段から心掛けていることを
教えてください。**

学院歌に「母に代わり子どもらを育む…」という歌詞があったのですが、それにはまず保護者(母)に安心して託してもらえよう、子どもたちも安心して過ごせるよう、しっかりとコミュニケーションをとって信頼関係を築くことです。

あとは自分自身の健康・体力の維持、好奇心、探究心、五感を使って感じる事。子どもを育むには、元気で魅力的な存在として、子どもたちの好奇心、探究心を広げていきたいですね。子どもたちが自分でできる事にたくさん興味を持ち、思うようにできない体験をしながら乗り越え、小さな達成感とともに自信や意欲につながっていったらと思っています。



**子どもと接していて
楽しいことを教えてください。**

月齢が低くても、成長の過程を感じられる事はとても楽しいです。目配せや顔の表情が変わる所から、寝返り、ハイハイ、つかまり立ちを経て一人歩き。声が言葉になっていく過程。

現在、担任している3歳児も、4月からみると排泄の自立をはじめ、様々な基本的生活習慣の自立の中で、精神面や言語、人との関わりなどの成長が楽しめます。

サンタの帽子をかぶって遊んでいた子に「サンタさん袋をどうぞ」と差し出すと、うれしそうにおもちゃを詰めながら「みんな!寝た子にサンタさん来よう!」別の遊びをしていた子どももみんな寝たふり。サンタ役の子は、一人ひとりの枕元におもちゃを1つずつ置いていく遊びに発展しました。

ほんのちょっとした働きかけで遊びが発展し、様々な関わりが生まれる所も見えて楽しいです。子どもの秘めた力はすごいですね。



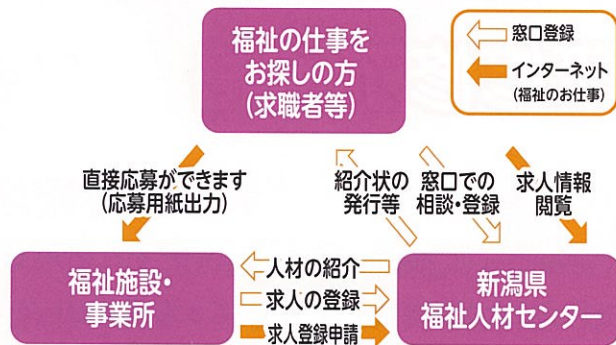
**福祉職を目指す方への
メッセージをお願いします。**

保育士は児童福祉法に基づき「保育に欠ける乳幼児を豊かな人間性を持った子どもに育成するため、自ら、人間性と専門性の向上に努める必要がある。」とされているように、人としての自分の生活態度を見つめ直し、様々な経験をし、好奇心と感性を磨く事。周りの人をよく見て感じて行動し、1つの考え方だけに捉われず、多方面から考えられる柔軟さを持つ事。動物とひとの発達の違いを理解して、人を育てるプロ意識を持つ事。環境(物的、人的)が人の成長に及ぼす影響は大きいと思います。母親たちが働きながら子育てをする時代。親の立場になって、一緒に子どもの成長を考え、喜び、楽しむように、自分自身を客観的にみて、失敗と反省を繰り返しながら、人間性を高めていけたらいいですね。



新潟県福祉人材センター事業のご案内

福祉人材無料職業紹介事業の概要



ホームページ 福祉のお仕事

<http://www.fukushi-work.jp/>

希望する就職地域や職種などで検索し、求人に応募することができます。

「福祉のお仕事モバイル」でも、求人情報等がご覧いただけます。



ハローワーク出張相談

県内のハローワーク等にて新潟県福祉人材センターの相談コーナーを設置し、個々の求職者の相談に応じた情報提供(資格取得・仕事内容・就職状況等)を行います。

申込については、下記のハローワークに直接連絡してください。

【ハローワーク長岡・上越・三条・柏崎・新発田・新津・巻】

長岡出張相談の実施

長岡市において毎月第3金曜日に、求職登録・相談等を行います。

【ご利用時間】10:00～15:00(受付は14:30まで)

長岡市社会福祉センター

(長岡市水道町3-5-30、長岡警察署隣)

福祉施設見学会

福祉のお仕事に興味・関心のある方や、福祉のお仕事に就きたいと思っている方を対象に、福祉施設の見学会を行っています。

【見学内容】オリエンテーション(施設の説明)、施設見学および質疑応答

福祉職場体験事業

福祉職場の雰囲気や介護業務などを体験することで、就労への不安を解消して円滑な就労ができるように支援します。※参加費無料

【対象者】福祉・介護に関心のある人(資格不問)

社会福祉施設・事業所への就職を希望している方

【体験期間】2日間～5日間、1日6時間程度

※体験内容や期間などは、体験先によって異なります。

【体験内容】施設概要の説明、施設ご利用者とのコミュニケーションなど

新潟県福祉人材センター相談窓口

【ご利用時間】月曜日～金曜日 9:00～17:00(受付16:30まで)(土曜日、日曜日、祝日、年末年始は休み)

新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3F TEL 025-281-5523

よくある質問 Q&A

Q 福祉の仕事をしてみたいけれど不安です。

A 施設見学をしてみましょう。

見学することで職場の雰囲気を知ることができ、職員に色々質問もできます。

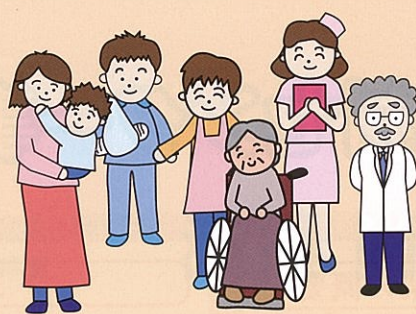
福祉人材センターでは職場体験や施設見学会も行っております。ぜひご利用ください。

Q 福祉の仕事をするには資格が必要ですか？

A 職種によっては「必ず」ではありません。

高齢者施設や障がい者施設の介護・介助については、資格不問で募集を行っているところもあります。

しかし、基礎的な知識や技術を学べる「介護職員初任者研修」や、福祉関係の国家資格等を持っている方を求めている求人が増えています。



介護職員初任者研修修了資格

■介護職員初任者研修とは

介護職員初任者研修とは、在宅または施設で働く上で必要となる、最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを身につけ、基本的な介護業務を行うことができるようにすることを目的としている研修です。

講義及び演習、必要に応じて実習（効果的な研修を行うために必要があると考えられる場合）が行われます。

研修時間は130時間以上で、通学制・通信制のいずれかで学習します。

また、知識・技術習得度の評価を行う「修了評価制度」を取り入れ、結果が所定の水準を超えた者のみに修了証明書を交付する仕組みとなります。

※介護職員初任者研修は、介護職員基礎研修課程、訪問介護職員養成研修課程（ホームヘルパー1級及び2級）の研修体系が一元化された研修です。

これらの研修修了者は、介護職員初任者研修課程修了者とみなすため、引き続き業務に従事できます。

■資格を活かして働く

研修修了者の活躍する職場は、高齢者・障がい者の入所・通所施設などがあります。

職種としては、福祉施設の介護職や支援員、高齢者・障がい者の自宅を訪問して介護サービスや家事援助を行う訪問介護員（ホームヘルパー）などがあります。

介護職員初任者研修の流れ



福祉の事



実務者研修

■実務研修とは

平成27年度の試験より、介護福祉士の資質の向上を図る観点から、介護福祉士養成施設の卒業者も国家試験を受験する形に変更し、実務経験者には3年以上の実務経験に加え、6ヶ月の実務者研修の受講(修了)が義務付けられました。

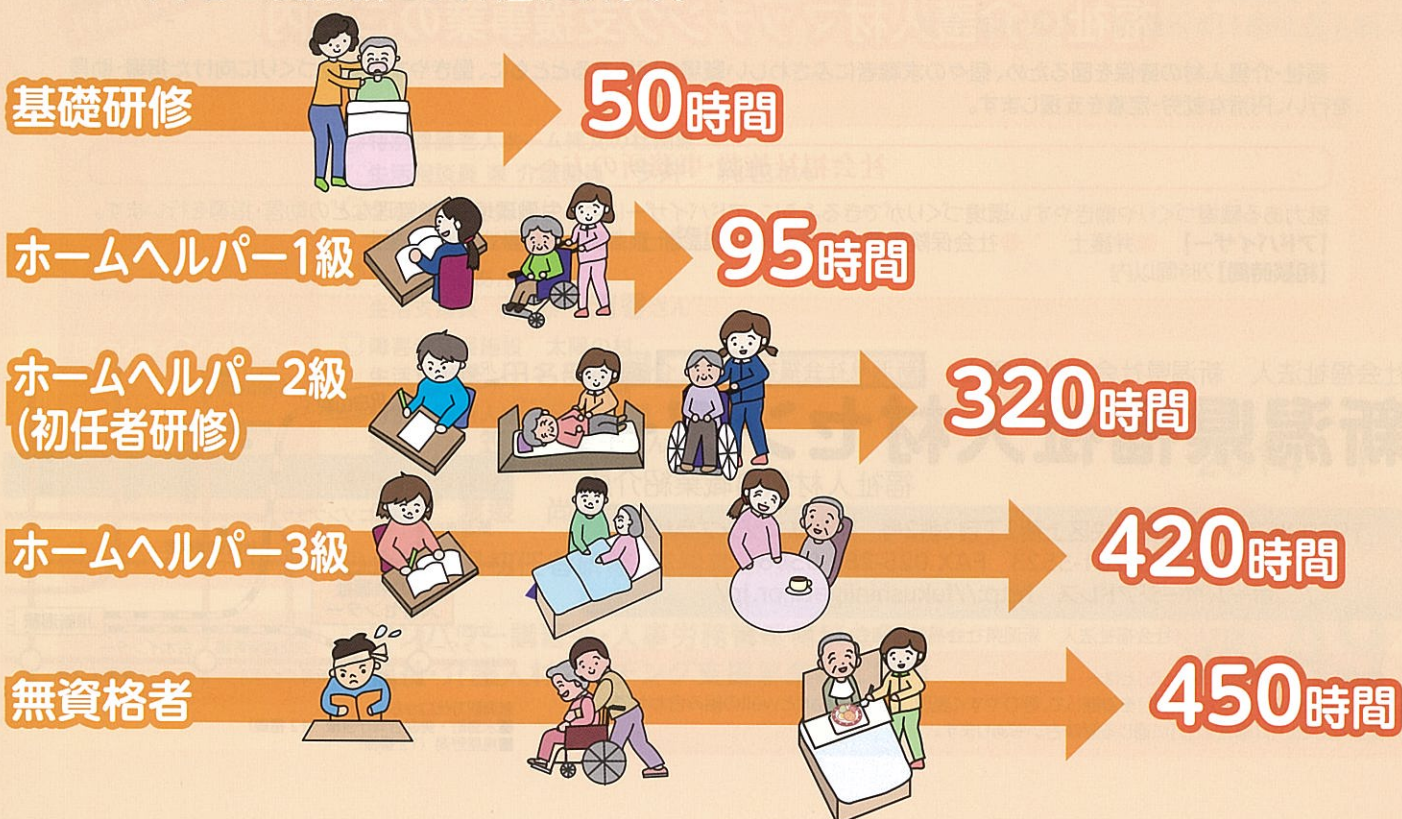
「実務者研修」については、これを実施することにより、介護職員初任者研修修了者等の資格取得後のキャリアパスの仕組みを作ることになります。

■実務者研修のメリット

- ①実技試験の免除
- ②介護福祉士資格取得後に、都道府県で実施する「喀痰吸引等研修」受講の免除
(ただし、実地研修は受講しなければならない)
- ③実務では習得しにくい知識・技術の習得
- ④通信課程もあり、実務従事者が受講しやすいとされています。

■受講対象者

資格・経験の有無に関わらず受講可能です。訪問介護員養成研修(ホームヘルパー)・介護職員基礎研修などの修了者は、受講免除となる科目があります。



福祉情報

福祉人材確保・定着に向けて【施設・事業所対象】

福祉マンパワー講習会(初任者コース)

参加費無料

- <目的> ●社会福祉施設・法人等に働く職員(初任者)及び就業内定者を対象に、福祉サービス事業従事者として必要な知識や援助技術の基礎を習得していただくことを目的に開催します。
- <対象者> ●中途採用者の方や内定者の方
- <内容> ●対人援助の方法・これからの社会福祉について・実践活動について

長岡会場

平成26年1月30日(木) 10:30~16:10(受付10:00~10:30)
長岡市立劇場(長岡市幸町2-1-2)

新潟会場

平成26年2月6日(木) 10:30~16:10(受付10:00~10:30)
新潟ユニゾンプラザ(新潟市中央区上所2-2-2)

<その他> ●昼食・筆記用具持参 <申込方法> ●専用の申込用紙を郵送又はFAX(ホームページでダウンロード可能)

平成25年度 人事労務管理相談セミナー

参加費無料

- <目的> ●福祉施設・事業所における人材育成、早期離職防止及び定着促進等を図るため、働きやすい職場をつくるため、セミナーを開催します。
- <対象者> ●社会福祉法人本部、社会福祉施設、事業所の人事及び人材育成担当者
- <期日・会場>

【人事労務管理相談セミナーⅠ】(定員80名) ◎テーマ「セクハラ・パワハラ防止及び改正労働契約法について」

新潟会場

平成26年1月16日(木) 13:00~16:30(受付12:30~13:00)
新潟ユニゾンプラザ 5階「中研修室」(新潟市中央区上所2-2-2)

長岡会場

平成26年1月22日(水) 13:00~16:30(受付12:30~13:00)
アトリウム長岡 1階「オリオン・フェニックス」(長岡市弓町1-5-1)

【人事労務管理相談セミナーⅡ】(定員80名) ◎テーマ「採用・試用期間をめぐるトラブル対策」

新潟会場

平成26年1月27日(月) 13:00~16:30(受付12:30~13:00)
新潟ユニゾンプラザ 5階「中研修室」(新潟市中央区上所2-2-2)

長岡会場

平成26年1月31日(金) 13:00~16:30(受付12:30~13:00)
アトリウム長岡 1階「オリオン・フェニックス」(長岡市弓町1-5-1)

<申込方法> ●専用の申込用紙を郵送又はFAX(ホームページでダウンロード可能)

福祉・介護人材マッチング支援事業のご案内

相談費用無料

福祉・介護人材の確保を図るため、個々の求職者にふさわしい職場を開拓するとともに、働きやすい職場づくりに向けた指導・助言を行い、円滑な就労・定着を支援します。

社会福祉施設・事務所の方へ

魅力ある職場づくりや働きやすい環境づくりができるように、アドバイザーによる労働環境・経営管理などの助言・指導を行います。

【アドバイザー】 ●弁護士 ●社会保険労務士 ●中小企業診断士 ●公認会計士 ●税理士

【相談時間】2時間以内

社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会

新潟県社会福祉協議会

検索

新潟県福祉人材センター

福祉人材無料職業紹介所

〒950-8575 新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3F

TEL 025-281-5523 FAX 025-282-0548

ホームページアドレス <http://fukushiniigata.or.jp/>

発行人/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会 土屋 良治

●情報紙の名称「はーとうえる」とはー
[hearty welfare:温かい福祉]を省略して、呼びやすく表現し、また、heartとwellの組み合わせで、
健康な心という「福祉の心」に通じる意味合いもあります。

